

一 般 質 問 通 告 書

令和7年第3回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者
6	4	大 野 雅 子	1 外国人労働者の受入れ 状況とサポート体制につ いて	(1) 市内に居住又は勤務されてい る外国人労働者数を把握してい るか。把握しているのであれば 何人であるか。	市 長
			2 人手不足の解消につい て	(2) 市内に居住又は勤務されてい る外国人労働者に対し、日常生 活や災害等の非常時にどのよう なサポートを行っているのか。 労働力不足を補うために市職員 の兼業を促進をされたと思うが、 どのような状況か。	市 長
			3 災害時の協力体制につ いて	(1) 8月8日の大雨や台風12号で 被災した霧島市、姶良市、南さ つま市等に災害の応援を行った か。	市 長
			4 まちの安心安全につい て	(2) 本市と近隣市町村との災害時 相互応援協定や支援体制はどの ようになっているか。 児童生徒の登下校の見守り、行 方不明者の捜索、犯罪の抑止等 のために、市内の主要な道路の交差 点に防犯カメラを設置することは できないか。	市 長
			5 子育て支援の充実につ いて	(1) 認定NPO法人グッドネーバ ーズ・ジャパンが今年6月に 行った「子どもの学校の長期休 み期間中におけるひとり親家庭 の暮らしの状況に関するアンケ ート」によると、学校給食のな い長期休み期間の食事回数が1 日2食以下の子供が2.5倍に増 加し、栄養バランスも悪くなる との結果となっているが、本市 の児童生徒の夏休みの食事の状 況を把握しているか。	教 育 長
				(2) 長期休暇期間中は、放課後児 童クラブの利用が増えると思う が、夏休み期間中はそれ以外の 期間に比べ利用率はどの程度増	市 長

			6 川内原発事故に備えた安定ヨウ素剤の配布について	的に活用する考えはないか。 (1) 川内原発で万一の事故が発生した場合、市民に対して安定ヨウ素剤を配布することはできるのか。 (2) 市民に対して配布する場合、どのような方法で行うのか。 (3) 身体障害者には申込み用紙が配布されているが、一般市民に対してはどのような取扱いになっているのか。	市	長
8	9	竹 原 信 一	1 阿久根大島航路事業者の撤退検討について	(1) 市としてこの動向をいつどのように把握し、どう対応しているのか。 (2) この5年間の累積赤字（約4,775万円）に対し、経営改善策を提案・支援してきた実績はあるのか。 (3) 市は、阿久根大島の指定管理者と令和6年4月から5年間の契約を締結している。航路の存続が不確かな中で、観光施設の運営だけを先行するのは、施策として合理的か。 (4) 事業者が撤退した場合の代替輸送手段（市直営化、他社誘致、民間船舶活用など）を検討しているのか。 (5) 市として阿久根大島を将来的にどう位置づけ、どのように公共交通と整合性を取るのか明確なビジョンは。 (6) 阿久根大島公園の指定管理者指定の議案を提出した令和5年第4回定例会のときには、この問題を把握していなかったのか。 (7) 観光政策と交通政策を連動させた中長期戦略の再構築の意思はあるか。	市	長
			2 図書館建設に係る債務負担行為補正と市役所の将来設計能力について	(1) 設計がまだ完了していない段階で、図書館建設費9億2500万円を債務負担行為として計上し	市長・教育長	

				た理由は何か。 (2) 8月28日に担当課長に設計の完成時期を聞いたところ「設計は12月完成予定」と回答された。このことと今回の補正計上との間には矛盾があると思うが、担当課長は債務負担行為の補正を行うことを知らなかったのか。 (3) 今後40～50年間の維持管理費などの経費について、人口減少や税収減を織り込んだ財政シミュレーションを行ったか。行っているのであればその内容、行っていないのであればその理由を示せ。 (4) 市の行政運営において将来設計を行う仕組みがあるか。あるのであればその仕組みを説明し、ないのであればその理由を示せ。	市長・教育長
9	12	山田 勝	1 「サンセット牛之浜景勝地」の道の駅について 2 観光振興について 3 県事業の推進について	(1) 現時点での整備に係る概算事業費を示せ。 (2) 整備主体はどこか。 (3) 管理運営の主体はどこか。 (4) 管理運営に関して市の負担があるのか。 (1) 脇本海岸は阿久根の宝だと考えているか。考えているのであれば、どのような点が宝であると言えるか。 (2) 県道脇本赤瀬川線に上水道が整備された後、脇本海岸周辺一帯は、観光地としてどのように発展していくと考えているか。 (3) 脇本海岸周辺一帯を観光地として更に発展させるために、どのような取組を行っていこうと考えているか。 (4) 今年度の市内の海水浴場の入込客数は。 県が行う災害対策や災害復旧の	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長

			4 ふるさと納税について	うち次の事業について、早期着手に向けて、地元選出県議会議員とどのように連携し、促進活動を行っているか。 (1) 桐野上地区の水田の排水路整備工事 市 長 (2) 県道脇本荘線の宮崎神社付近の崩土に伴う復旧工事 市 長 令和7年度の納税額と返礼品の注文の状況はどうなっているか。 市 長	
10	3	川 原 慎 一	地域マイクログリッド事業について	地域マイクログリッド事業（地域内再生可能エネルギー活用モデル事業）について市民からどのような事業であるか質問を受けることから、あらためてその目的や内容などを問う。 (1) このマイクログリッド事業とはどのような目的で、どのようなことを行う事業か。 市 長 (2) 設置した施設・設備はどのようなものか。 市 長 (3) この事業の工事において市内企業への発注はあったか。 市 長 (4) この事業の工事において市内の宿泊施設の利用はあったか。 市 長 (5) この事業に関して、どのような収入が本市に入るのか。また、その金額はどの程度か。 市 長 (6) 事業期間終了後はどうなるか。 市 長	